

備前市事務事業評価表

事務事業名	社会福祉推進事業	コード	02-01-04-18	担当課	福祉事務所	高年齢福祉係
事業実施期間	昭和46年～		担当者	角南文子		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	やさしさのあふれるまちづくり				
	小項目	高齢者福祉				
	施策	地域社会づくりの支援				
電話	64-1827					

事業について	
目的	社会福祉協議会が行う社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の発展及び社会福祉に関する活動により、高齢者福祉等地域福祉の推進を図ることを支援する。
対象（誰のために）	対象となる地域住民のため
内容	社会福祉協議会が備前市における社会福祉事業を行うために補助金を交付する。

事業の結果						
実施項目	17年度					
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
	憩いの場設置数	49	箇所			
	共同募金額	7,180,219	円			
各種事業活動回数	565	回				
総合相談・心配ごと相談件数	268	件				
行事開催数	156	回				
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費	37,216	国庫補助金等	132	直接事業費	
	人件費	2,375	受益者負担		人件費	
	合計	39,591	一般財源等	39,459	合計	0
必要人員	0.25	人				
結果指標①	結果指標名	憩いの場設置数				
	結果指標量	49				
	単位	箇所				
	対前年比	0.00%				
結果指標②	事業費	3,237,000	円			
	単位当たりコスト①	66,061	円			
	結果指標名	各種事業活動回数				
	結果指標量	565				
単位	回					
対前年比	0.00%					
事業費	36,354,000	円				
単位当たりコスト②	64,343	円				

事業の成果			
成果指標名	相談解決率	式又は説明	解決件数/相談件数 相談件数に対して解決件数の割合が高くなれば市民の安心が得られ、社会福祉が充実したと考えられる。
成果指標量	74		
対前年比	0.00%		
到達目標値	75	到達目標年度	18年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	社会福祉協議会が行う事業は、地域福祉の推進には欠かせないものであり今後も地域福祉の推進母体として事業を継続していかねばならない。合併によりエリアも広くなり、現在までの手法も違っているが、地域間格差を是正しながら効率的な事業展開を目指していく必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	--	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	54	結果指標量②	500
目標値	結果指標量	75	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	合併したことによる事業の効率化	18年度	補助金の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。